

東洋大学

2027年度

外国人留学生 編入学・転入学 入学試験要項

出願時に日本国内に在住している外国人留学生を対象にした入学試験です。

日本国外からの出願はできません。

出願時に日本国外に在住している方は

「外国人留学生オンライン利用入学試験要項」を確認し、出願を行ってください。

この「入学試験要項」には、出願から入学手続までのすべての事項が記載してありますので、よく読んで手続に間違いのないよう十分に注意してください。

なお、この「入学試験要項」の内容に変更、訂正等が生じた場合および、大規模な自然災害等が発生したことにより特別措置を講じる場合は、その内容を本学入試情報サイトに随時掲載します。

出願書類に不備がある場合は受験できませんので、提出する書類に不備がないよう十分に注意してください。一度提出された書類は事情の如何に問わず返還いたしませんので、証明書の原本を提出する際は十分に注意してください。



東洋大学

目次

概要

感染症等の影響による2027年度入学試験における対応について	1
募集学部学科(専攻)・募集人員一覧	3
出願資格	3
試験日程	4
試験科目[配点]・試験会場	4
試験時間割	4

出願

出願の際の注意事項	5
出願の流れ	6
出願書類	7
入学検定料	10
受験上の配慮	11
受験票	11

受験

試験当日の注意事項	12
試験時間中の注意事項	13

合格発表・入学手続

合格発表	14
入学手続	14

その他

納付金	15
入学手続後の入学辞退と納付金の返還	15
在留資格(日本国以外の国籍を有する者)	16
外国人留学生のための支援制度	17
キャンパス案内図	18
問い合わせ先	21
既修得単位の取扱い	22
履歴書記入例	28

【個人情報の取り扱いについて】

出願に際して提出された住所、氏名、その他の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続、⑤入学前の事前教育等と、これらに付随する事項を目的としてのみ使用します。

なお、これらの業務の一部を、東洋大学が指定した業者に委託します。

業務委託にあたり、同業者に対して、提供して頂いた個人情報を提供することがあります。

試験後、試験会場で感染症等の存在が判明した場合は、保健所等の行政機関へ個人情報を提供する場合があります。



感染症等の影響による2027年度入学試験 における対応について

- 感染症等の感染拡大や緊急事態宣言の発令等により、やむを得ず、試験日や選抜方法等、本書に記載されている内容を変更する場合は、決定次第、東洋大学入試情報サイト (<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>) 等にてお知らせします。

募集学部学科(専攻)・募集人員一覧

第1部(昼)

学 部	学科(専攻)	編入学		転入学	
		3年次	2年次	3年次	2年次
経 営	経 営				
	マ ー ケ テ ィ ン グ	若干名	—	若干名	若干名
	会 計 フ ァ イ ナ ン ス				
国 際	国 際 地 域 (国 際 地 域)	若干名	—	若干名	若干名
情 報 連 携	情 報 連 携	若干名	若干名	若干名	若干名
総 合 情 報	総 合 情 報 (メ デ ィ ア 情 報)	—	若干名	—	若干名
	総 合 情 報 (心 理 ・ ス ポ ー ツ 情 報)	—	若干名	—	若干名
	総 合 情 報 (シ ス テ ム 情 報)	—	若干名	—	若干名
生 命 科	生 物 資 源	—	若干名	—	若干名

出願資格

<2年次・3年次編入学>

以下の1～3のすべてを満たす者(ただし、経営学部の志願者は3を除く)。

1. 日本国以外の国籍を有する者。
2. 2027年3月31日までに外国において^(注1)、学校教育における14年以上の課程を修了した者(含見込者)。
3. 日本留学試験(2024年11月実施、2025年6月・11月実施、2026年6月実施)のいずれかの日本語得点(読解、聴解及び聴読解の合計)が300点以上の者、又は日本語能力試験(JLPT)がN2以上合格の者。

【経営学部の志願者は上記1、2に加え、以下を満たす者】

日本語能力試験(JLPT)N1を合格している者。

(注1)「外国において」とは、日本国外に住所が所在していることを意味しており、日本国内に所在している外国人学校やインターナショナルスクール等については、外国の教育課程であっても当資格の対象外となります。

<3年次転入学>

以下の1～3のすべてを満たす者(ただし、経営学部の志願者は3を除く)。

1. 日本国以外の国籍を有する者。
2. 2027年3月31日までに外国の大学(短期大学を除く)に2年以上在学した者(含見込者)。
3. 日本留学試験(2024年11月実施、2025年6月・11月実施、2026年6月実施)のいずれかの日本語得点(読解、聴解及び聴読解の合計)が300点以上の者、又は日本語能力試験(JLPT)がN2以上合格の者。

【経営学部の志願者は上記1、2に加え、以下を満たす者】

日本語能力試験(JLPT)N1を合格している者。

<2年次転入学>

以下の1～3のすべてを満たす者(ただし、経営学部の志願者は3を除く)。

1. 日本国以外の国籍を有する者。
2. 2027年3月31日までに外国の大学(短期大学を除く)に1年以上在学した者(含見込者)。
3. 日本留学試験(2024年11月実施、2025年6月・11月実施、2026年6月実施)のいずれかの日本語得点(読解、聴解及び聴読解の合計)が300点以上の者、又は日本語能力試験(JLPT)がN2以上合格の者。

【経営学部の志願者は上記1、2に加え、以下を満たす者】

日本語能力試験(JLPT)N1を合格している者。

※情報連携学部の出願を希望する場合は、必ず出願前に赤羽台事務課に相談してください。

下記Webサイトより、詳細を確認の上、事前相談を申請してください。

<https://www.iniad.org/hentennyu/>

(注) 出願資格または大学入学資格を取得見込で受験し、入学時までに要件を満たせなかった場合または、合格発表後等に出願資格および出願資格審査に関わる書類に虚偽の記載があることが判明した場合、入学することはできません。

試験日程

第1部(昼)

出願期間	受験票印刷可能予定日	試験日	合格発表日	入学手続締切日
10月23日(金)～10月27日(火)	12月 2日(水)～	12月13日(日)	1月 8日(金)	1月14日(木)

※ 出願期間内に、出願書類の郵送(出願期間内消印有効)および入学検定料の支払いが必要です。

※ 受験票印刷可能予定日について、受験票は上記の受験票印刷可能予定日後に受験生各自が印刷してください。詳細は「受験票」のページを確認してください。

試験科目[配点]・試験会場

- 各科目欄に配点の記載がある科目が、その学科(専攻)での試験科目です。
- 入学試験は東洋大学の各キャンパスにて実施します。各キャンパスの所在地は「キャンパス案内図」のページを参照してください。学科(専攻)によって試験会場が異なりますので、試験当日は試験会場を間違えないよう、十分に注意してください。なお、試験会場を間違えた場合、受験することはできません。

第1部(昼)

学部	学科(専攻)	試験科目[配点]				試験会場 (本学キャンパス)
		書類選考	面接	情報	数学	
経 営	経 営	100	100			白山キャンパス
	マ ー ケ テ ィ ン グ	100	100			
	会 計 フ ァ イ ナ ン ス	100	100			
国 際	国 際 地 域 (国 際 地 域)	50	100			
情 報 連 携	情 報 連 携	100	100	100	100	赤羽台キャンパス
総 合 情 報	総 合 情 報 (メ デ ィ ア 情 報)	50	100			白山キャンパス
	総合情報(心理・スポーツ情報)	50	100			
	総合情報(システム情報)	50	100			
生 命 科	生 物 資 源	100	100 [※]			朝霞キャンパス

※面接は口頭試問を含みます。口頭試問は、生物・化学に関する内容です。

試験時間割

第1部(昼)

※情報連携学部を除く

集合時間 9:00
説明 9:00～ 9:20
面接 9:20～

※試験終了時間は、面接の順番により異なります。

情報連携学部

集合時間 9:00
説明 9:00～ 9:20
情報 9:20～10:20
数学 10:35～11:35
面接 11:50～

出願の際の注意事項

- (1) 提出された出願書類について確認事項がある場合、大学から志願者に対して、登録された電話番号宛に、またはインターネット志願者専用ページの「マイページ」より確認の連絡をします。そのため、インターネット出願の際に登録する電話番号およびメールアドレスは、大学からの連絡を受理することが可能なものを登録してください（携帯電話の番号可）。志願者本人が電話を所持していない場合は、日本語学校や日本国内にいる友人等、代理人の電話番号を登録してください。ただし、連絡がつかない等の場合においても本学は一切責任を負いませんので、十分に注意してください。
- (2) 出願後の志望学部・学科（専攻）、第1部（昼）、第2部・イブニングコース（夜）、および入試方式の変更はできません。
- (3) 出願書類は提出後の変更は認めません。
- (4) 出願書類に不備がある場合は受験できません。
- (5) 出願書類が郵送されても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されても出願書類の郵送消印日が出願期間を過ぎている場合は受験できません。
- (6) 出願書類の提出は原則、日本国内からの郵送に限り受付けます。国際郵便等による海外からの郵送を行う場合は、事前に東洋大学入試部まで必ずお問い合わせください。
- (7) 理由の如何を問わず、一度提出された書類の返却は行いません。
- (8) 出願書類の記載事項に虚偽等があった場合は受験できません。
- (9) 出願後に電話番号等の個人情報を変更する場合は、インターネット志願者専用ページ「マイページ」の「個人情報変更依頼」より変更の手続を行ってください。
- (10) 入学検定料の納入の確認および出願書類の到着後、出願資格の審査を行います。審査の結果、出願資格が認められない場合は受験できません。その際は、出願時に登録された電話番号宛に、または「マイページ」にその旨を連絡します。
- (11) 合格発表後に虚偽等が発覚した場合は、入学することはできません。

出願の流れ

出願にあたり、以下のものを事前に準備してください。

- 「調査書」等の出願に必要な書類
※ 「出願書類」のページを確認し、不備がないか十分に確認してください。
- インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォン
- インターネット登録に必要なメールアドレス
- 「志願票」等を印刷するための環境（プリンタ等）
- 角2封筒（市販のもの）

出願を完了するために、

1 インターネット出願登録、**2** 入学検定料の支払い、**3** 出願書類の郵送が必要です

1 インターネット出願登録

(1) 「TOYO Web Style メンバー」登録をする

本学入試情報サイトより、「TOYO Web Style メンバー」に登録をしてください。（メールアドレスが必要です。迷惑メール設定などをしている場合は、「@nyushi.toyo.ac.jp」および「@toyo.jp」からのメールが受信できるように設定してください。）

(2) 「マイページ」にログインし、インターネット出願登録をする

(1)の完了後、本学入試情報サイトからインターネット志願者専用ページ「マイページ」にログインすることができます。「マイページ」から出願登録画面にアクセスし、画面の指示に従って出願登録を行ってください。（出願登録は出願期間初日の3日前から可能です。）

(3) 「志願票」・「宛名ラベル」を印刷し、入学検定料の支払情報の確認をする

出願登録完了後、「志願票」・「宛名ラベル」をA4用紙に印刷してください。また、画面の指示に従って入学検定料の支払方法を確認してください。（宛名ラベルとは出願書類提出先が印字された用紙です。）

※ **1** - (2)のインターネット出願登録は出願期間最終日の23:59まで可能ですが、**1**の後、下記の**2**および**3**の手続が必要となりますので、時間に余裕をもって手続を行ってください。

2 入学検定料の支払い

1 - (3)で確認をした支払方法に従って、入学検定料を納入する

入学検定料の支払い前にも「志願票」「宛名ラベル」等の印刷は可能です。郵送前に支払いが完了しているか、また志願票右上に記載の「整理番号」と支払いを行った整理番号が一致しているか、必ず確認してください。

3 出願書類の郵送

角2封筒に**1** - (3)で印刷した「宛名ラベル」を貼付し、出願書類を封入のうえ、郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送する※

出願期間内消印有効です。志願票は折り曲げずに封入してください。なお、出願書類に不備がある場合、出願を受理することはできません。

※ 本学が出願書類を受領し、内容を確認したうえで不備等がなければ、出願受付が完了します。出願受付の状況は「マイページ」で確認することができます。出願書類の確認は順次行いますので、出願受付完了となるまでに時間を要することがあります。

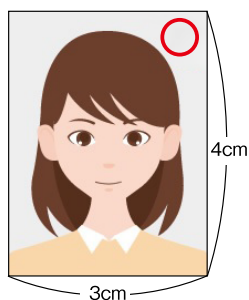
出願書類

- 各種証明書は日本語、英語または中国語で記載されたものを提出してください。それ以外の言語で書かれている場合は、必ず公的機関または日本語学校等により証明された翻訳を添付し、証明書の原本（コピー可）とともに提出してください（志願者本人の翻訳は認めません。また、民間会社による翻訳も認めません）。なお、翻訳が複数枚におよぶ場合は、原則として全ページに確認印（割印可）が必要です。
- 本学所定用紙は本学入試情報サイトよりダウンロードし、印刷してください。
- 外部から取り寄せる書類は、発行までに時間を要するものがあるため、余裕をもって準備してください。
- 提出された出願書類について確認事項がある場合、大学から志願者に対して、登録された電話番号宛に、または「マイページ」より確認の連絡を行います。志願者が確認依頼に回答しない等の事由から、大学において出願資格または出願書類についての確認が取れなかった場合には、出願を受付けません。なお、上記により出願不可となった場合において、大学からの確認依頼に応じられなかった等を理由とした出願資格の再審査等の申し出には一切応じません。

1 志願票①

- インターネット出願登録後、A4サイズの下紙で印刷してください。
- インターネット出願登録時に入力した内容が印字されていますので、内容を確認のうえ、誤りがなければ顔写真を貼付してください。なお、顔写真は所定の場所に、以下の点に注意して貼付してください。

【適切な写真の例】



- 出願時点から3カ月以内に撮影したもので、**たて4cm×よこ3cmの上半身・無帽・正面・背景の無いカラー写真（白黒不可）**。
- ピントが合っており、**肩の一部と顔全体が鮮明に写っているもの**。
- 服装は私服・制服を問いません。ただし、**提出された写真は入学後、学生証用として卒業まで使用します**。
- 受験時に眼鏡等を着用する者は、眼鏡等を着用して撮影したもの。
- 画像に加工を施していないもの。
- 光沢仕上げでプリントされたもの。**網目（つや消し）仕上げや普通紙への印刷は不可**。
- 志願票の所定の位置に剥がれないように貼付してください。

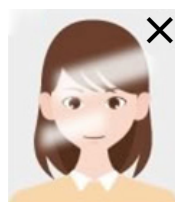
【不適切な写真の例】



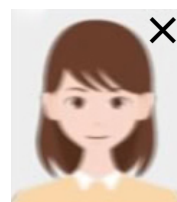
正面を向いていない



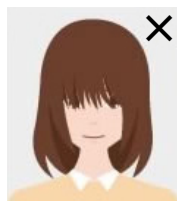
背景がある（風景、柄が写っている）



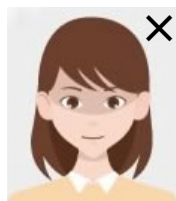
照明が反射して顔の一部が見えない



ピンボケや手振れにより不鮮明



前髪で目元が隠れている



顔に影がかかっている



サングラスを着用している、マフラーやスカーフで輪郭が隠れている



枠からはみ出ている

2	志願票②	(1) インターネット出願登録後、A4サイズ用の紙で印刷してください。 (2) 記載されている注意事項をよく読み、志願者本人が日本語で、ていねいに記入してください(黒のボールペンで記入すること)。
3	履歴書 [本学所定用紙]	(1) 本学入試情報サイトよりダウンロードし、A4サイズ用の紙で印刷してください。 (2) 記入例を参考にして、志願者本人が日本語で、ていねいに記入してください(黒のボールペンで記入すること)。
4	志願理由書 [本学所定用紙]	(1) 本学入試情報サイトよりダウンロードし、A4サイズ用の紙で印刷してください。 (2) 志願者本人が日本語で、ていねいに記入してください(黒のボールペンで記入すること)。 (3) 志望学部・学科に入学後、どのような研究・学習をしていきたいかがわかるように記入してください。
5	外国の大学 または短期大学の 成績証明書	修得した全科目の成績および単位数を明記したものを提出(コピー可)してください。 ※統廃合等により出身校から証明書の発行を受けられない等のやむを得ない事情により、証明書が提出できない場合に限り、成績原簿のコピーの提出を認めます。なお、コピーを提出し合格した場合、合格後に原本確認を行います。
6	外国の大学 または短期大学の 履修証明書	現在履修中の科目がある場合にはその科目名、単位数、履修年度等が記載されているもので、在籍している大学・短期大学・高等専門学校が証明したものを添付(コピー可)してください。 ※成績証明書に現在履修中の科目名、単位数、履修年度が明記されている場合は必要ありません。
7	在留カードの 両面コピー	・試験日まで有効な在留資格・在留期間が記載されているもの(特別永住者は特別永住者証明書)を提出してください。 ・在留カードの両面コピーは、両面の情報すべてが見切れることなくコピーされていることを確認してください。 ※在留カードを更新中の場合は、更新中であることを証明するものとして、「出入国在留管理庁の申請番号・受付年月日・申請者名」を確認できる、次のいずれかの書類の提出が必要です。 「出入国在留管理庁発行の申請受付票(コピー)」 「在留申請オンラインシステムの申請受付メール」 「日本語学校が代理申請したことを示す書類(コピー可)」 ・出願時に日本国外に居住している場合は、パスポートの氏名、顔写真、生年月日等本人を証明できるページのコピー(A4サイズのもの)を提出してください。
8	日本語の能力に 関する証明書	＜経営学部の志願者＞ 日本語能力試験の認定結果および成績に関する証明書のコピーを提出してください。 ＜国際学部・情報連携学部・総合情報学部・生命科学部の志願者＞ 日本留学試験の成績確認書もしくは成績通知書のコピー、または日本語能力試験の認定結果および成績に関する証明書のコピーを提出してください(A4サイズ用の紙にコピーしてください)。
9	現在、在籍しているお よび過去に在籍してい た学校の出席状況に 関する証明書 ＜該当者のみ＞	・出願時、および過去に日本国内の日本語教育機関等(日本語学校、専修学校等)に在籍している(していた)者は、当該機関が発行する下記の全期間の出席状況が記載されている証明書を提出してください(書式は任意・コピー不可)。複数の機関に所属していた場合は当該機関の分の証明書を提出してください。 <u>入学から2026年9月末までの出席状況</u> ・授業時間数で算出された出席率が90%を下回る場合は、当該機関に必ずその理由(病気・怪我、やむを得ない事情等)を証明書へ記載するよう依頼してください。 ※在籍した日本語教育機関等の事情により証明書が発行できない場合は、その理由を文書にて提出してください(書式は任意)。 ※日本国内の日本語教育機関等に一度も在籍したことがない者は、提出不要です。

10	外国の大学または短期大学の卒業(見込)証明書 <編入学試験の志願者のみ>	(1) 入学年月日、卒業年月日、修業年数、卒業資格等について記載された証明書(コピー可)を提出してください(卒業証書(Diploma)とは異なります)。 (2) 統廃合等により出身校から証明書の発行を受けられない等のやむを得ない事情により、証明書が提出できない場合に限り、卒業証書(Diploma)のコピーの提出を認めます。 (3) 卒業(見込)証明書または卒業証書のコピーを提出し合格した場合、合格後に原本確認を行います。
11	外国の大学の退学証明書または在学証明書 <転入学試験の志願者のみ>	(1) 外国の大学の退学証明書または在学証明書を提出(コピー可)してください。 (2) コピーを提出し合格した場合、合格後に原本確認を行います。
12	日本の大学または短期大学の成績証明書 <日本の大学に在籍したことのある志願者のみ>	修得した全科目の成績および単位数を明記したものを提出してください。 ※現在履修中の科目がある場合には、証明書に科目名、単位数、履修年度を明記してください。 ※統廃合等により出身校から証明書の発行を受けられない等のやむを得ない事情により、証明書が提出できない場合に限り、成績原簿のコピーの提出を認めます。なお、コピーを提出し合格した場合、合格後に原本確認を行います。
13	英語の能力に関する書類 <任意提出>	TOEIC®・TOEFL®・IELTS™など英語能力について客観的に証明する書類を提出することができます。(受験していない場合は、証明書を提出する必要はありません。)

入学検定料

1. 入学検定料 …… 10,000円

入学検定料の納入は、インターネット出願登録後、「試験日程」に記載されている出願期間内に、以下のいずれかの方法で行ってください。出願書類が郵送されても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されても出願書類の郵送消印日が出願期間を過ぎている場合は、受付できません。なお、入学検定料のほかに別途手数料等がかかります。

納入方法に応じて金額が異なりますので、出願登録時に表示される「インターネット出願ガイダンス」ページで確認してください。

納入方法
コンビニエンスストア
ペイジー（「Pay-easy」のマークのある金融機関のATM）
インターネットバンキング
クレジットカード

※ 金融機関の窓口での納入はできません。

※ 納入方法および利用可能なコンビニエンスストア・クレジットカード、ペイジー・インターネットバンキング対応金融機関については、出願登録時に表示される「インターネット出願ガイダンス」ページで確認してください。

※ コンビニエンスストアでの支払いは、土日・祝日問わず、営業時間内であればいつでも可能です。

※ クレジットカードの支払方法は、一括払いのみとなります。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。なお、支払いされるカードの名義人は受験生本人でなくても構いません。

※ 入学検定料収納証明書（領収書等）は必ず保管してください（収納証明書、領収書等のコピーを送付する必要はありません）。

2. 入学検定料の返還

一旦納入された入学検定料は事情の如何にかかわらず返還しません。

ただし、以下の1または2のいずれかに該当する場合は返還の対象となりますので、返還を申請される方は下記の申請期間にマイページより返還申請を行ってください。

【返還対象】

1. 入学検定料を納入したが、志願票を郵送しなかった。
2. 入学検定料を納入して志願票を郵送したが、他の出願書類に不備等があり、出願が受理されなかった。

【申請期間】

返還対象となった入試の試験日翌日から2027年1月4日（月）まで

上記の期間にマイページ内の「入学検定料返還申請」より申請手続きを行ってください。

なお、申請期間外である場合、または申請期間内であっても上記の要件に該当しない場合は、マイページにログインしても申請手続きを行うことはできません。

【返還予定】

申請完了した月の2カ月先の末日

例：12月25日に申請完了した場合、2月末日

※ 書類または電子メール等による返還申請には一切応じません。

※ 申請期間経過後の返還請求には一切応じません。

※ 申請の際、返還先口座の金融機関名、支店名、口座番号、口座カナ名義が記載されたもの（通帳等）の画像ファイル（jpg/jpeg）のアップロードが必要となりますので、事前に準備をしてください。なお、画像ファイルは、上記の返還先口座情報を確認できるものであれば、スマートフォン等で撮影したものでも構いません。

※ 返還先口座として、日本国外の金融機関は指定できません。

※ 指定された口座情報が誤っている、申請内容に不備がある、申請内容についての本学からの確認依頼に応答しない等の事由により、本学が申請を受理できない場合には返還しません。

※ 支払手数料は返還の対象とはなりません。

受験上の配慮

病気・負傷や障がい等のために、入学試験の受験に際して配慮を希望する場合（日常的に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験するなどを含む）は、試験会場設定や他の配慮内容との関係から、必ず下記の申請締切日までに「受験相談申請書」を記入して入試部にご相談ください。ただし、必ずしも全てのご希望に添えるとは限りませんので予めご了承ください。

また、配慮内容について大学との事前の相談を希望する場合は、「受験相談申請書」の該当欄にその旨を記入してください。入学後の修学上の配慮については、原則として入学手続後に別途申請となります。

なお、「受験相談申請書」の提出に関する詳細については下記本学入試情報サイトに掲載してあります。

東洋大学入試情報サイト → 入試情報 → 受験上の配慮について

URL <https://www.toyo.ac.jp/nyushi/admission/care>

【申請期間】

2026年9月25日(金) 17:00まで

※申請期限後は一切受付できませんのでご注意ください。

区 分	対 象 と な る 者	配 慮 事 項 (例)
視覚に関する 配慮事項	- 点字による教育を受けている者 - 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 - 視力以外の視機能障がいが高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 - 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	- 点字解答 - 試験時間の延長 - 拡大文字問題冊子の配付 - 拡大鏡等の持参使用 - 窓際の明るい座席を指定
聴覚に関する 配慮事項	- 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 - 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	- 注意事項等の文書による伝達 - 座席を前列に指定 - 補聴器又は人工内耳の装用
肢体不自由に関する 配慮事項	- 体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 - 両上肢の機能障がい著しい者 - 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	- チェック解答 - 試験時間の延長 1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 - トイレに近い試験室で受験 - 車椅子、杖の持参使用
病弱に関する 配慮事項	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 - 杖の持参使用 - 別室の設定
発達障がいに関する 配慮事項	学習障がい、注意欠如・多動症(注意欠陥多動性障がい)、自閉スペクトラム症(自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい)等のため配慮を必要とする者	- 試験時間の延長 - チェック解答 - 拡大文字問題冊子の配付 - 注意事項等の文書による伝達
その他	上記の区分以外で配慮を必要とする者	- トイレに近い試験室で受験 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定

受験票

- ・受験票の郵送は行いません。マイページの「受験・合否情報確認」から受験生各自が印刷し、試験当日に必ず持参してください。
- ・受験票の印刷可能予定日は「試験日程」のページを確認してください。
- ・受験票は必ずA4サイズで印刷してください(モノクロおよびカラー印刷のいずれでも可能ですが、縮小や拡大印刷はしないでください)。
- ・印刷した受験票は点線に沿って折り曲げ、右上の受験番号が記載されている面を表にして、試験会場の机の上に置いてください。
- ・印刷後、記載内容に誤りがないか必ず確認してください。
- ・受験票印刷可能予定日を過ぎてもマイページから受験票を印刷することができない場合は、入試部にお問い合わせください。

試験当日の注意事項

- (1) 試験会場の所在地および開門時間は「キャンパス案内図」のページで確認してください。試験会場を間違えると受験できませんので、十分に注意してください。
- (2) 受験票はマイページの「受験・合否情報確認」から印刷し、必ず持参してください。試験会場または試験教室の入口で、受験票の提示が必要になります。受験票を忘れた場合、受験できない場合があります。なお、受験生の付き添い者は試験教室に入室できません。**また、付き添い者の控室はありません。**
- (3) 試験教室等は、試験当日の朝、試験会場の入口に掲示します。
- (4) 試験教室では、机の上の座席票の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。自分の受験番号と異なる席に着席し、受験した場合、受験が無効となる場合がありますので、十分に注意してください。
- (5) 1時限目の試験開始時刻に遅刻した場合は、**試験開始から20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。20分経過後は、1時限目だけでなく2時限目以降の受験もできません。**なお、1時限目を受験した場合で、2時限目以降において試験開始後20分までに試験場へ入室できない場合は、当該時限以降の受験はできません。
- (6) 試験会場には駐車場がありませんので、自動車・バイク等での試験会場への乗り入れはできません。
- (7) 試験教室では、すべて試験監督者の指示に従ってください。また、試験会場・試験教室において、他の受験生に迷惑となるような行為は禁止します。従わない場合は不正行為とみなし、退室させることがあります。
- (8) 試験が終了するまでは、特別な事情がない限り試験会場外へは出られませんので、必要に応じて昼食等を持参してください。なお、試験当日は学生食堂、売店等は営業していません。
- (9) **試験当日、試験会場近辺に合格電報・合格電話等を取り扱っている業者がありますが、本学とはまったく関係がありません。この業者に関して発生した事故について、本学は一切責任を負いませんので十分に注意してください。**
- (10) 試験教室には、時計がありません。また、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類を時計代わりに使用することはできません。必要に応じて、**時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針用のもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)**を持参してください。なお、時計の貸出しは行っていません。
- (11) 不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。
- (12) 不正行為が認められた場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

試験当日に交通機関の乱れが生じている場合

試験当日、雪などの天候不良や事故、地震などにより交通機関の乱れが生じている場合でも、まず試験会場に向かってください。本学では追試験・再試験は行いませんので、その日のうちに必ず入学試験は行われるものと理解してください。

各試験会場への主要公共交通機関(バス・車を除く)の乱れなどにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないとうかがわれ、大学が判断した場合に限り、試験開始時刻を遅らせることがあります。

ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定した後、本学入試情報サイトに随時掲載しますので、各自で確認をしてください。

学校保健安全法等で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験実施にあたり、学校保健安全法等で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)の蔓延が確認された場合、関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合があります。

また、感染症に罹患し治癒していない受験生が確認された場合、同じく関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合もあります。なお、試験実施について措置がとられた場合でも、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定した後、本学入試情報サイトに随時掲載しますので、各自で確認をしてください。

受験生の皆さんへお願い

- (1) 入学試験会場での感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)の感染を防ぐため、必要に応じて各自でマスクを用意してください。
- (2) 咳・くしゃみが出る場合は、マスクを着用する、咳エチケットを守るなど周囲の受験生への感染防止に配慮してください。
- (3) 休憩時間中他、ドア・窓等を開放して外気との換気を行う場合があります。寒暖については各自、体温調整が可能な服装で受験してください。
- (4) 感染症等の感染を防ぐため、必要な指示および措置を講じる場合は、決定次第、東洋大学入試情報サイト(<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>)等にてお知らせします。

試験時間中の注意事項

受験票等所持品の扱い

- (1) 「受験票」は右上の受験番号が記載されている面を表にして、点線に沿って十字折りし、必ず机の上に置いてください。
- (2) 「受験票」の他に試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・黒鉛筆 (HBまたはBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)、鉛筆キャップ
- ・シャープペンシル (HBまたはBの黒い芯に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)、芯ケース
- ・プラスチック製の消しゴム
- ・鉛筆削り (電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)
- ・時計 (辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)
- ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー (袋又は箱から中身だけ取り出したもの。)

- (3) 「下敷き」「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規」などの用具は使用できません。
- (4) **アラーム機能のついた時計は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。**
- (5) 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末 (例：スマートウォッチやスマートグラス等)・タブレット型端末等の電子機器類は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っているとき不正行為とみなされることがあります。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴ることがありますので、注意してください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を教室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
- (6) 「耳せん」は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。
- (7) **試験教室内で、「英文字」「地図」「格言」等がプリントされている衣服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。また、帽子・マフラーは原則として使用できません。**
- (8) 「座布団」「クッション」「タオル」「ひざ掛け」「手袋 (多汗症用を含む。)」の使用を希望する場合は、試験開始前に試験監督者に申し出て、許可を受けてから使用してください。

試験時間中の退室

試験時間中は試験終了までは退室を認めません。試験中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。

ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室した分の試験時間の延長は認められません。

試験時間中の試験監督者の指示

試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為とみなし、退室させることがあります。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。

不正行為

次の行為は不正行為となることがあります。不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。また、既に受験した科目の受験も無効となります。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。

- (1) 解答用紙へ故意に虚偽の記入 (本人以外の氏名・受験番号を記入するなど) をすること。
- (2) カンニング (カンニングペーパー・参考書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど) をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (4) 「下敷き」「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規」など、使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
- (5) 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (6) 配付された問題冊子をその試験時間が終了する前に試験教室から持ち出すこと。
- (7) 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (8) 試験時間中に、出題内容、あるいは解答を教えるなど他の受験生が有利となるような行為をすること。
- (9) 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末 (例：スマートウォッチやスマートグラス等)・タブレット型端末等の電子機器類を身につけていること。
- (10) 試験時間中に携帯電話や時計等の音 (着信・アラーム・振動音など) を鳴らすこと。
- (11) 試験会場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
- (12) 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (13) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

※不正行為が認められた場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

その他の注意事項

- (1) 試験時間中に監督者が受験生の顔の確認を行います。マスクの着用等により本人確認できない場合、一時的に外す等の指示をすることがあります。
- (2) 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (3) 机、椅子、空調等の試験教室による相違は一切考慮しません。

合格発表

- (1) **合格発表はマイページにて行います。合格発表日後に、マイページの「受験・合否情報確認」から合否結果を確認してください。**
 - ※ 合格発表の公開開始時間は、合格発表日の10:00を予定しています。
 - ※ 合格発表の開始直後はアクセス集中に伴い、マイページにログインしづらくなる場合があります。
- (2) 郵送による合格通知書の発送は行いません。合格通知書はマイページの「受験・合否情報確認」から必要に応じて印刷し、各自保管してください。
 - ※ 合格通知書には、重要な個人情報に記載されています。SNS等での公開は絶対に行わないでください。
 - ※ 合格通知書は、2027年4月5日（月）まで確認（印刷）が可能となります。
- (3) 合否結果に関する問い合わせには、一切応じません。また、マイページからの出力以外の方法による合格通知書発行の申し出にも応じません。
- (4) 入学試験の成績開示については、2027年3月に本学入試情報サイトにてお知らせします。

入学手続

マイページの「受験・合否情報確認」から入学手続サイトにアクセスし、入学手続締切日までに下記の手続を行ってください。
手続方法の詳細は、入学手続サイトに掲載される「入学手続のしおり」を確認してください。

(1) 納付金納入手続

(2) オンライン入学手続（学生情報の登録）

- ・日本国外の金融機関からの送金はできません。
- ・入学手続締切日までに上記手続が完了しない場合は、当該合格者に入学の意思がないものとみなし、締切後の入学手続は一切受けません。入学手続未完了者に対して個別に手続催告等の通知は行いませんので、各自の責任で手続を完了させてください。
- ・納入した入学金（入学申込金）は「東洋大学の合格した学部学科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、入学を辞退した場合を含め、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。

納付金

2027年度入学生 納付金内訳(予定)

(単位:円)

		入学手続時 必要額	入学後 <10月>	学費					初年度納付金 合計
				入学金	授業料	一般施設 設備資金	実験実習料	教育充実料	
文学部・経済学部・経営学部・法学部		755,000	505,000 (386,500)	250,000	790,000 (553,000)	220,000			1,260,000 (1,023,000)
社会学部	社会学科	755,000	505,000 (386,500)	250,000	790,000 (553,000)	220,000			1,260,000 (1,023,000)
	国際社会学科・ 社会心理学科	762,500	512,500 (394,000)	250,000	790,000 (553,000)	220,000		15,000	1,275,000 (1,038,000)
	メディアコミュニケーション 学科	760,000	510,000 (391,500)	250,000	790,000 (553,000)	220,000		10,000	1,270,000 (1,033,000)
国際学部・国際観光学部		790,000	540,000 (411,000)	250,000	860,000 (602,000)	220,000			1,330,000 (1,072,000)
情報連携学部		960,000	710,000 (545,000)	250,000	1,100,000 (770,000)	320,000			1,670,000 (1,340,000)
福祉社会 デザイン学部	社会福祉学科・ 子ども支援学科	805,000	555,000 (430,500)	250,000	830,000 (581,000)	240,000	40,000		1,360,000 (1,111,000)
	人間環境 デザイン学科	895,000	645,000 (511,500)	250,000	890,000 (623,000)	300,000	100,000		1,540,000 (1,273,000)
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	875,000	625,000 (494,500)	250,000	870,000 (609,000)	300,000	80,000		1,500,000 (1,239,000)
	栄養科学科	900,000	650,000 (512,000)	250,000	920,000 (644,000)	300,000	80,000		1,550,000 (1,274,000)
理工学部		967,500	717,500 (554,000)	250,000	1,090,000 (763,000)	260,000	85,000		1,685,000 (1,358,000)
総合情報学部		915,000	665,000 (510,500)	250,000	1,030,000 (721,000)	260,000	40,000		1,580,000 (1,271,000)
環境イノベーション学部		987,500	737,500 (574,000)	250,000	1,090,000 (763,000)	300,000	85,000		1,725,000 (1,398,000)
生命科学部・食環境科学部		980,000	730,000 (577,000)	250,000	1,020,000 (714,000)	360,000	80,000		1,710,000 (1,404,000)

《備考》

- ・入学手続時に必要な納付金は、「入学金」と「学費(入学金以外)の1/2」です。
- ・入学金(入学申込金)の納入は、初年度のみです。
- ・納入した入学金(入学申込金)は、「東洋大学の合格した学部学科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、入学を辞退した場合を含め、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。
- ・上記の授業料は、30%の授業料減免を受ける前の金額です。()内は30%の授業料減免を受けた場合の納入額です。
- ・日本国外の金融機関からの送金はできません。
- ・入学手続時は正規の授業料を納入してください。入学後、授業料減免を受けた場合、その減免額を払い戻します。秋学期以降は、成績基準等の条件を満たし授業料減免対象と認められた者には、あらかじめ授業料を成績基準に応じた減免率で減免した額を請求します。授業料減免を受けることができる対象者については、「外国人留学生のための支援制度」を確認してください。
- ・上記の金額は納入予定額のため、変更となる場合があります。
- ・上記の表は全学部・学科の納付金を掲載しています。入試方式によって募集学部・学科は異なります。
- ・文学部史学科に入学される方は、学会費が別途6,000円必要となります。
- ・社会学部国際社会学科に入学される方は、1年次に1週間程度の国内外での国際社会体験演習に参加するため、これに伴う費用(交通費・宿泊代・教材費・食費等)国内10万円程度、海外30万~40万円程度(長期プログラム希望者は35万~40万円程度)が別途必要になります。
- ・入学後の履修科目・所属コースによっては、各種実習料が必要となる場合があります。
- ・所定の修業年限を超えた方は、納付金額が変更となる場合があります。
- ・納付金についての最新情報は、東洋大学ホームページで確認してください。

入学手続後の入学辞退と納付金の返還

本学への入学手続を完了した後に、以下の理由で本学が定める手続により入学辞退の届出をした者には入学辞退を認め、入学金を除く納付金を返還します。

- ・病気やけが、経済的困窮等により就学が困難になった場合
- ・出願資格または大学入学資格を取得見込で受験し、入学時まで要件を満たせなかった場合
- ・合格発表後等に出願資格及び出願資格審査に関わる書類に虚偽の記載があることが判明した場合
- ・その他やむを得ない事情により、入学を辞退する場合

詳細は、入学手続サイトに掲載される「入学手続のしおり」で確認してください。

〈入学辞退届出の期限〉2027年3月31日(水)

在留資格（日本国以外の国籍を有する者）

本学に入学を許可された外国人学生は、「留学」の在留資格を申請することができます。ただし、2027年4月1日時点で「留学」または他の中長期在留資格を取得していない場合は原則として入学することはできません。

日本国以外の国籍を有する志願者が、第2部・イブニングコース（夜）へ入学した場合、在留資格「留学」を取得することはできません。

詳しくは、こちらのWebサイトを出願前に必ず確認してください。

<https://www.toyo.ac.jp/academics/international-exchange/enroll/prearrival/#anc06>

●有効な在留資格がある場合（日本に居住している方）

(1) 「留学」の在留資格を有している場合

すでに「留学」の在留資格がある場合、現在の在留資格期限に応じて在留期間更新許可申請を行ってください。詳しくは「入学手続のしおり」を確認してください。

ただし、下記項目に該当する場合は、一度出国し、以下「有効な在留資格がない場合」と同じ手続を求める場合があります。この場合、本学では「留学」の在留期間更新許可申請は行いません。

① 本学入学前に在籍している教育機関で「留学」の在留資格を取得しており、前の教育機関の課程修了（卒業）から本学への入学までの期間が3カ月以上あいている場合

② 本学入学前に在籍している教育機関で「留学」の在留資格を取得しており、時期に関係なく前の（または現在在籍している）教育機関の課程を修了（卒業）せずに退学をした（またはする予定）場合等、本学が在留期間更新許可申請は不適切と認めた場合

※ 事情により、「在留資格認定証明書」の交付が2027年4月1日の入学に間に合わない場合もありますが、授業を欠席する等に伴う不利益について、本学は一切の責任を負わないものとしますので、ご注意ください。

(2) 「短期滞在」の在留資格を有している場合

「短期滞在」の在留資格では、大学に在籍することができません。入学前に「留学」の在留資格を取得する必要がありますので、「有効な在留資格がない場合」と同じ手続を行ってください。

(3) 「留学」「短期滞在」以外の有効な中長期在留資格を有している場合

2027年4月1日時点で「定住者」「家族滞在」等の有効な中長期在留資格を有していれば、大学に在籍することができます。ただし、授業料減免や奨学金受給等の各種支援制度の利用を希望する場合は、「留学」の在留資格が必要です。「留学」への在留資格変更を希望する場合は「在留資格変更許可申請」の手続をしてください。手続の方法は合格発表後、「入学手続のしおり」でお知らせします。

※ 合格者は、学費及び日本での生活費を十分に支弁できることを証明するため、就学手続の際に、保証人（経費支弁者）又は本人名義の預金残高証明書を提出する必要があります。

＜1年間の生活費（月額12万円×12ヶ月分）＋本学学費以上の残高があるもの＞

※ 入学前に在籍した教育機関における在籍状況（日本語学校の出席率、大学・専門学校の成績等）が著しく不良である場合、在留資格更新に影響する可能性があります。特に、日本語学校等の出席率が80%未満の場合は、出入国在留管理庁による在留資格更新審査において不許可となる可能性が高いことから、本学でも在留資格更新手続を認めないことがあります。

●有効な在留資格がない場合（日本に居住していない方）

日本に入国し、大学に在籍するためには、「在留資格認定証明書」の交付申請をする必要があります。交付申請の手続は、日本国内の出入国在留管理庁で①本人、②本人の親族、③経費支弁者（大学の学費等を支払ってくれる方）のいずれかが行う必要があります。本人もしくは代理人（親族または経費支弁者）が日本にいない場合、本学指定の行政書士を通して在留資格の代理申請を行うことができます。代理申請に必要な書類の提出方法については、合格発表後、「入学手続のしおり」でお知らせします。なお、「在留資格認定証明書」は、申請してから交付されるまで2～3カ月かかります。また、「在留資格認定証明書」が交付されたら、他の必要書類を用意して、自国または居住地の在外日本公館より「留学ビザ（査証）」の発給を受けてから来日してください。

※ 大学が代理申請を行う在留資格は「留学」です。

※ 代理申請には「学費支弁能力証明書」が必要です。準備には時間を要する場合があるため、あらかじめ準備をしてください。

※ 本学で「在留資格認定証明書交付」の代理申請を希望する場合、過去の交付申請回数と不交付になった回数を正しく申し出てください。また、提出した全ての書類および入力内容等に関して、虚偽の報告により不交付となった場合、大学での再申請は受付しません。

※ 「在留資格認定証明書」については出入国在留管理庁が、ビザ取得については在住国の在外日本公館がそれぞれ審査を行います。不交付・不発給となった場合について、大学は一切責任を負いません。

外国人留学生のための支援制度

1. 授業料減免・奨学金

本学では、奨学金・授業料減免等の制度で、外国人留学生のみなさんを支援します。

授業料減免制度は、外国人留学生の教育推進と経済的負担を軽減することを目的とする制度です。入学後に出願を受け付けており、主な出願条件には、在留資格が「留学」であること、経済的に修学が困難であること、所定の成績基準を満たしていること（1年次は履修登録を完了していること）などがあります。なお、詳細は本学ホームページの以下のURLから「外国人留学生対象の奨学金」の項目等をご確認ください（2026年度の実績のご案内となります）。

https://www.toyo.ac.jp/campuslife/student_support/award/award_ssa/

2. 住居探しの際の保証人サポートについて

日本で部屋を借りるときには「保証人」が必要となります。保証人は借りる人が賃料を支払わなかった場合に代わりに賃料を払います。日本人学生は家族など身近な方に依頼しますが、それが難しい留学生は保証会社を利用することなどが必要です。

東洋大学は、株式会社グローバルトラストネットワークスと覚書を締結しています。東洋大学の留学生はこちらの会社で保証人代行をする際の保証料が20%引きとなりますのでぜひご利用ください。その他、株式会社グローバルトラストネットワークスでは、日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語など、多言語による住居探しのサポートも兼ね備えており、留学生向けのアパートなどの物件も多く取り揃えています。

※ 物件によっては割引適用外となる可能性があります。詳しくは株式会社グローバルトラストネットワークスに直接ご確認ください。

●株式会社グローバルトラストネットワークスホームページ (<https://www.gtn.co.jp/>)

キャンパス案内図

入学試験は、本学の各キャンパスにて実施します。
「試験科目[配点]・試験会場」のページで、自身の受験する試験会場を確認してください。
各キャンパスの所在地および試験当日の開門時間は以下のとおりです。

試験会場	開門時間
白山キャンパス	8:10
赤羽台キャンパス	
朝霞キャンパス	

※入試方式によっては、その入試では試験会場とならないキャンパスがあります。
※掲載している地図は2026年4月現在のものです。建物名称等が変更される場合があります。

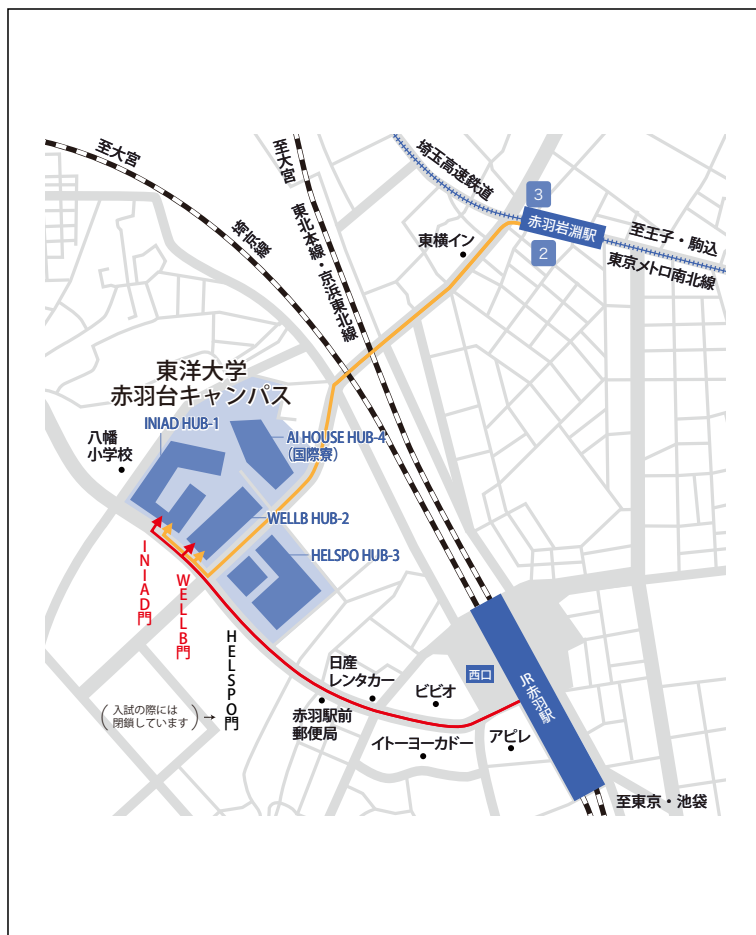


白山キャンパス

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

[交通案内]

- 都営地下鉄三田線「白山」駅下車、
A3出口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線「千石」駅下車、
A1出口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅下車、
1番出口より徒歩5分



赤羽台キャンパス

〒115-8650 東京都北区赤羽台1-7-11

[交通案内]

- JR
「赤羽」駅下車、西口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線 / 埼玉高速鉄道線
「赤羽岩淵」駅下車、2番出口より徒歩12分



川越キャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

[交通案内]

- 東武東上線
「鶴ヶ島」駅下車、東口より徒歩10分



朝霞キャンパス

〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1

[交通案内]

- 東武東上線
「朝霞台」駅下車、北口より徒歩10分
- JR 武蔵野線
「北朝霞」駅下車、東口より徒歩10分

問い合わせ先

1. 入学試験に関すること

東洋大学入試部

<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/support/>

お急ぎのお問い合わせは

TEL 03-3945-7272 (直通)

9:30～13:00 14:00～16:45 (月～金曜日)

9:30～12:45 (土曜日)



2. 納付金および納付金の返還に関すること

東洋大学経理部財務課

<https://sites.google.com/toyo.jp/gakuhi/inquiry-fees>



3. 在留資格、ビザ (査証) 等に関すること

東洋大学在留資格サポートオフィス

E-mail toyo-pugs@tugs.co.jp

※事務取扱日時は変更になる場合があります。

※入学手続に関しては、入学手続サイトに掲載される「入学手続のしおり」に記載の各学部教務課窓口にお問い合わせください。

既修得単位の取扱い

経営学部

● 2年次への転入学の場合

① 転入学前の大学等で修得した単位のうち、本学経営学部で32単位を修得したものとみなし、以下の単位認定方法で一括認定（評価は分野で一括して「T」）いたします。

※一括認定した既修得単位に対応する授業科目の特定は行いません。（ただし、一部の科目については授業科目ごとの単位認定を行います。（評価は「T」）

※評価「T」は、GPAの対象となりません。

② 転入学後は、認定単位数、学科の履修指導に従って、卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

1部経営学科へ2年次転入した場合の単位認定方法

分野	区分			卒業要件	認定単位				
全学基礎教育科目	哲学・自校教育			2単位以上					
	国際	異文化理解			2				
		語学							
		研修							
		LEAP							
		外国人留学生科目							
	キャリア								
(全学基礎教育科目)計			4単位以上	2					
全学共通教育科目	人文科学	文学・歴史・文化			6				
	社会科学	経済・経営							
		法・政治・社会							
	自然科学	自然・環境・生命・食							
		数理・情報・理学・工学							
	スポーツ・健康・福祉	講義・演習							
		実技							
	総合・学際・観光								
	(全学共通教育科目)計			10単位以上	6				
	基礎			8単位以上					
基礎実習講義			2単位(必修)						
専門教育科目	選択A群	コア科目		60単位以上	14単位以上	16単位以上			
		演習							
		専門科目4分野	経営管理・経営組織						
			経営戦略						
			経営情報・分析メソッド						
			財務・会計・マーケティング						
		選択B群							
		(専門教育科目)計					80単位以上	16	
	語学科目	必修科目(ビジネス英語)			8単位以上	4			
		選択科目							
		留学生用科目	必修科目(日本語)		6単位(必修)	4			
			選択科目						
		(語学科目)計			14単位以上	8			
合 計			124単位以上	32					

マーケティング学科へ2年次転入した場合の単位認定方法

分野	区分		卒業要件	認定単位
全学基礎教育科目	哲学・自校教育		2単位以上	2
	国際	異文化理解		
		語学		
		研修		
		LEAP		
	外国人留学生科目			
	キャリア			
(全学基礎教育科目)計		4単位以上	2	
全学共通教育科目	人文科学	文学・歴史・文化		6
	社会科学	経済・経営		
		法・政治・社会		
	自然科学	自然・環境・生命・食		
		数理・情報・理学・工学		
	スポーツ・健康・福祉	講義・演習		
		実技		
	総合・学際・観光			
(全学共通教育科目)計		10単位以上	6	
専門教育科目	基礎		8単位以上	16
	基礎実習講義・マーケティングデータ分析入門		4単位(必修)	
	選択A群	コア科目	60単位以上 10単位以上	16
	選択B群			
	(専門教育科目)計		80単位以上	16
	必修科目(ビジネス英語)		8単位以上	4
	選択科目			
語学科目	留学生用科目	必修科目(日本語)	6単位(必修)	4
	選択科目			
	(語学科目)計		14単位以上	8
合計		124単位以上	32	

会計ファイナンス学科へ2年次転入した場合の単位認定方法

分野	区分		卒業要件	認定単位	
全学基礎教育科目	哲学・自校教育		2単位以上	2	
	国際	異文化理解			
		語学			
		研修			
		LEAP			
	外国人留学生科目				
	キャリア				
(全学基礎教育科目)計			4単位以上	2	
全学共通教育科目	人文科学	文学・歴史・文化		6	
	社会科学	経済・経営			
		法・政治・社会			
	自然科学	自然・環境・生命・食			
		数理・情報・理学・工学			
	スポーツ・健康・福祉	講義・演習 実技			
	総合・学際・観光				
(全学共通教育科目)計			10単位以上	6	
専門教育科目	基礎		8単位以上	16	
	基礎実習講義		2単位(必修)		
	選択A群	コア科目	60単位以上		12単位以上
		選択B群			
	(専門教育科目)計		80単位以上		16
	必修科目(ビジネス英語)		8単位以上		4
語学科目	選択科目			4	
	留学生用科目	必修科目(日本語)	6単位(必修)		
		選択科目			
	(語学科目)計		14単位以上		8
合 計			124単位以上	32	

● 3年次への編入学・転入学の場合

- ① 編入学・転入学前の大学等で修得した単位のうち、本学経営学部で62単位を修得したものとみなし、以下の単位認定方法で一括認定（評価は分野で一括して「T」）いたします。

※一括認定した既修得単位に対応する授業科目の特定は行いません。（ただし、一部の科目については授業科目ごとの単位認定を行います。（評価は「T」）

※評価「T」は、GPAの対象となりません。

- ② 編入学・転入学後は、認定単位数、学科の履修指導に従って、卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

※3年次への編入を希望する場合でも、単位の認定状況によっては2年次での受入となることもありますので、ご注意ください。

1部経営学科へ3年次転入した場合の単位認定方法

分野	区分		卒業要件	認定単位	
全学基盤教育科目	哲学・自校教育		2単位以上		
	国際	異文化理解		4	
		語学			
		研修			
		LEAP			
	外国人留学生科目				
	キャリア				
(全学基盤教育科目)計			4単位以上	4	
全学共通教育科目	人文科学	文学・歴史・文化		8	
	社会科学	経済・経営			
		法・政治・社会			
	自然科学	自然・環境・生命・食			
		数理・情報・理学・工学			
	スポーツ・健康・福祉	講義・演習			
		実技			
	総合・学際・観光				
	(全学共通教育科目)計			10単位以上	8
	基礎			8単位以上	4
基礎実習講義			2単位(必修)		
専門教育科目	選択A群	コア科目	60単位以上	16単位以上	
		演習			
		経営管理・経営組織		2単位以上	
		経営戦略		2単位以上	
		経営情報・分析メソッド		2単位以上	
		財務・会計・マーケティング		2単位以上	
					8
	選択B群				24
	(専門教育科目)計			80単位以上	36
	必修科目(ビジネス英語)			8単位以上	8
	語学科目	選択科目			
留学生用科目		必修科目(日本語)	6単位(必修)	6	
		選択科目			
(語学科目)計			14単位以上	14	
合 計			124単位以上	62	

マーケティング学科へ3年次転入した場合の単位認定方法

分野	区分		卒業要件	認定単位
全学基盤教育科目	哲学・自校教育		2単位以上	
	国際	異文化理解		4
		語学		
		研修		
		LEAP		
	外国人留学生科目			
	キャリア			
(全学基盤教育科目)計		4単位以上	4	
全学共通教育科目	人文科学	文学・歴史・文化		8
	社会科学	経済・経営		
		法・政治・社会		
	自然科学	自然・環境・生命・食		
		数理・情報・理学・工学		
	スポーツ・健康・福祉	講義・演習		
		実技		
	総合・学際・観光			
(全学共通教育科目)計		10単位以上	8	
専門教育科目	基礎		8単位以上	4
	基礎実習講義・マーケティングデータ分析入門		4単位(必修)	
	選択A群	コア科目	60単位以上 10単位以上	
	選択B群			8
				24
	(専門教育科目)計		80単位以上	36
	必修科目(ビジネス英語)		8単位以上	8
語学科目	選択科目			
	留学生用科目	必修科目(日本語)	6単位(必修)	6
	選択科目			
	(語学科目)計		14単位以上	14
合 計		124単位以上	62	

会計ファイナンス学科へ3年次転入した場合の単位認定方法

分野	区分		卒業要件	認定単位
全学基盤教育科目	哲学・自校教育		2単位以上	
	国際	異文化理解		4
		語学		
		研修		
		LEAP		
	外国人留学生科目			
	キャリア			
(全学基盤教育科目)計		4単位以上	4	
全学共通教育科目	人文科学	文学・歴史・文化		8
	社会科学	経済・経営		
		法・政治・社会		
	自然科学	自然・環境・生命・食		
		数理・情報・理学・工学		
	スポーツ・健康・福祉	講義・演習		
		実技		
総合・学際・観光				
(全学共通教育科目)計		10単位以上	8	
専門教育科目	基礎		8単位以上	4
	基礎実習講義		2単位(必修)	
	選択A群	コア科目	60単位以上 12単位以上	
		選択B群		8
	(専門教育科目)計		80単位以上	24
語学科目	必修科目(ビジネス英語)		8単位以上	36
	選択科目			8
	留学生用科目	必修科目(日本語)	6単位(必修)	
		選択科目		6
	(語学科目)計		14単位以上	14
合 計		124単位以上	62	

国際学部

● 2年次への転入学の場合

- ① 転入学前の大学等で修得した単位のうち、32単位までを本学国際学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 転入学前に修得した科目が、本学国際学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。
ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 転入学後は、認定単位数、学科の履修指導に従って、卒業関係科目着手条件・卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

● 3年次への編入学・転入学の場合

- ① 編入学・転入学前の大学等で修得した単位のうち、62単位までを本学国際学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学国際学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。
ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 編入学・転入学後は、認定単位数、学科の履修指導に従って、卒業関係科目着手条件・卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

● シラバスのコピーの提出

単位を認定するにあたり、編入学・転入学前に修得したすべての科目のシラバスのコピー（講義内容がわかるもの）を入学手続き完了後に提出していただきます。あらかじめ用意しておいてください。

また、出願書類と別途に卒業証明書（退学証明書）・成績証明書（2027年1月以降発行）をシラバスとともにご提出いただきます。原則的にいずれも英語表記とします。

● 2年次への転入学・3年次への編入学・転入学の場合（2025年度以降入学生向けカリキュラム）

国際学部 国際地域学科国際地域専攻 卒業要件							
科目区分 Subject Category				Global track (Japanese)	Global track (English)		
卒業要件単位 Graduation requirement credits				124 Credits	124 Credits		
Study Skills	Basic Academic Skills			必修 Compulsory	8 Credits	6 Credits	
	Advanced Academic Skills			必修 Compulsory	14 Credits	14 Credits	
				選択必修 Elective Compulsory	2 Credits	2 Credits	
	Language and Communication Skills	English			必修 Compulsory	6 Credits	6 Credits
					選択必修 Elective Compulsory	—	—
		Second Foreign Language			選択必修 Elective Compulsory	—	8 Credits*
		Japanese			選択必修 Elective Compulsory	8 Credits	
						40 Credits	30 Credits
	Academic Subject	国際関係・開発政策領域 International Relations and Development Policy Field			選択必修 Elective Compulsory	16 Credits	16 Credits
		比較文化領域 Comparative Culture Field					
コミュニティ・地域政策領域 Community and Regional Policy Field							
環境・情報・インフラ領域 Environment, Information and Infrastructure Field							
国際地域共通 RDS Special Studies			選択 Elective	—	—		
グローバル・イノベーション分野 Global Innovation Studies Field							
Project Study			必修 Compulsory	2 Credits	—		
全学基盤教育科目 Fundamental Education Courses					4 Credits	4 Credits	
	哲学・自校教育 Philosophy・Institutional Education			選択必修 Elective Compulsory	2 Credits	—	
全学共通教育科目 Common Education Courses					4 Credits	—	

※「日本語」を選択できるのは外国人留学生のみに限る。Only international students can select "Japanese".

●既修得単位の取り扱いについて

編入学・転入学前の大学等において修得した単位は、原則、下記の要領で認定されます。

入学年次	認定方法	認められる単位数
3年次	原則一括認定	62単位
2年次	原則一括認定	32単位

※1 各科目区分の認定単位数は、入学者のそれまでの学修状況により変更する可能性があります。

※2 カリキュラムは、本学ホームページの情報連携学部ページをご確認ください。

総合情報学部

●2年次への編入学・転入学の場合

- ① 編入学・転入学前の大学等で修得した単位のうち、32単位までを本学総合情報学部において修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学総合情報学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。
ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 編入学・転入学後は、認定単位数、学科の履修指導に従って、卒業関係科目着手条件・卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

●卒業条件単位数

区分	全学基盤教育				全学共通教育						小計	専門科目					他学部他学科専攻科目	合計
	哲学・自校教育	国際	キャリア	小計	人文科学	社会科学	自然科学	スポーツ・健康・福祉	総合・学際・観光	小計		必修	メディア情報専攻	心理・スポーツ情報専攻	システム情報専攻	小計		
メディア情報専攻	2	8*		12						10	22	20	36			68		124
心理・スポーツ情報専攻	2	8*		12						10	22	20		36		68		124
システム情報専攻	2	8*		12						10	22	20			36	68		124

※外国語必修6単位、外国語選択必修2単位

●卒業関係科目着手条件

4年次の必修科目「総合情報学演習Ⅴ」「総合情報学演習Ⅵ」「卒業研究・制作Ⅰ」「卒業研究・制作Ⅱ」を履修するために定める条件単位数

区分	全学基盤教育				全学共通教育						小計	専門科目					他学部他学科専攻科目	合計
	哲学・自校教育	国際	キャリア	小計	人文科学	社会科学	自然科学	スポーツ・健康・福祉	総合・学際・観光	小計		必修	メディア情報専攻	心理・スポーツ情報専攻	システム情報専攻	小計		
メディア情報専攻												10	30			40		92
心理・スポーツ情報専攻												10		30		40		92
システム情報専攻												10			30	40		92

●シラバスのコピーの提出

単位を認定するにあたり、編入学・転入学前に修得したすべての科目のシラバスのコピー（講義内容がわかる日本語か英語で記載されているもの）を入学手続完了後に提出していただきます。あらかじめ用意しておいてください。

生 命 科 学 部

●2年次への編入学・転入学

- ① 編入学・転入学前の学校で修得した単位のうち、32単位までを本学生命科学部において1年次に修得したものとみなし、単位を認定します。
- ② 編入学・転入学前に修得した科目が、本学生命科学部の学科教育課程表の「科目名称・講義内容・単位数等」に合致すると判断された場合は、修得した科目と本学の科目を対応させて科目ごとに個別に認定します。
ただし、本学の科目として個別に認定できない科目は、科目分野ごとに単位数をまとめて一括で認定します。
- ③ 編入学・転入学後は、認定単位数、各学科の履修指導に従って、卒業論文着手条件・卒業要件を満たすために不足単位を修得します。

2024年度以降入学生用 卒業要件単位数

区分 学科	基盤教育科目										専門教育科目					合計	
	哲学・思想	学問の基礎			国際人の形成			キャリア・市民形成	健康・スポーツ科学	総合・学際	小計	必修	学科共通選択必修	コース選択必修	選択		小計
		人文科学	社会科学	自然科学	世界の伝統と文化	グローバル社会の実際	語学										
生物資源学科	4	4					6※1				24	46	5	12		90	124

2024年度以降入学生用 卒業論文着手条件単位数^{※2}

区分 学科	基盤教育科目										専門科目					合計	
	哲学・思想	学問の基礎			国際人の形成			キャリア・市民形成	健康・スポーツ科学	総合・学際	小計	必修	学科共通選択必修	コース選択必修	選択		小計
		人文科学	社会科学	自然科学	世界の伝統と文化	グローバル社会の実際	語学										
生物資源学科	4	4					6※1				24	32	5	12		74	110

※1 必修科目であること

※2 卒業論文着手条件単位数とは、最終学年に必ず履修・修得する必要がある卒業関係科目を履修するために修得しておかなければならない条件単位数となります。

●シラバスのコピーの提出

単位を認定するにあたり、編入学・転入学前に修得したすべての科目のシラバスのコピー（講義内容がわかる日本語または英語で記載されているもの）を入学手続完了後に提出していただきます。あらかじめ用意しておいてください。

履歴書記入例

受験番号 ※

※は記入しないでください。

東洋大学 外国人留学生編入学・転入学試験 履歴書

志 願 者

カナ姓名	(姓 Surname)	(名 Given name)
英字氏名※		

※住民票（パスポート）の記載順の通りに記入してください。ミドルネームがある場合は「姓 Surname」の欄に記入してください。

学 歴

※通学したすべての学校を小学校から順に記入し、在学期間の「入学・転入 / 卒業・転出」欄の当てはまるものに○印をつけてください。

※出願時点で在学中の場合は卒業見込みの年月を記入してください。

学 校 名	学校所在地 (国・地域、および市)	在 学 期 間	在学 年数	卒業資格 (小・中・高・高専・大学)
ソウル第一初等学校	韓国・ソウル市	2010 年 3 月 ~ 2016 年 2 月 (入学) 転入 (卒業) 転出	6 年	小
ソウル第三中学校	韓国・ソウル市	2016 年 3 月 ~ 2019 年 2 月 (入学) 転入 (卒業) 転出	3 年	中
ソウル第五高等学校	韓国・ソウル市	2019 年 3 月 ~ 2022 年 2 月 (入学) 転入 (卒業) 転出	1 年	高
ソウル国際大学	韓国・ソウル市	2022 年 3 月 ~ 2026 年 2 月 (入学) 転入 (卒業) 転出	2 年	大
		年 月 ~ 年 月	年	
		年 月 ~ 年 月	年	

卒業（見込）証明書に
記載されている学校名を
正確に記入してください。

卒業（見込）証明書に
記載されている年月を
正確に記入してください。

【補足】

学歴欄には在籍状況について詳しく記入し、飛び級・早期卒業・休学などの事実がある場合は補足欄に理由および期間を記入してください。

日本語学校等の在籍歴

※出願時点で在学中の場合は修了見込みの年月を記入してください。

※日本語学校等の在籍歴がない場合は「なし」と記入してください。

日本語学校（大学別科含）・専門学校	学校所在地 (国・地域、および市)	在 学 期 間	在学 年数
東洋国際学院	日本・東京都	2026 年 4 月 ~ 2027 年 3 月	1 年
		年 月 ~ 年 月	年
		年 月 ~ 年 月	年

外国語の知識（母国語、日本語を除く）

※学習したすべての外国語を記入してください。

外 国 語 名	学 習 期 間	学習した学校・機関名
英語	6 年 0 カ月	ソウル第三中学校・ソウル第五高等学校
	年 カ月	
	年 カ月	

受験番号	※
------	---

※は記入しないでください。

東洋大学 外国人留学生編入学・転入学試験 履歴書

志 願 者

カナ姓名		
英字氏名※	(姓 Surname)	(名 Given name)

※住民票（パスポート）の記載順の通りに記入してください。ミドルネームがある場合は「姓 Surname」の欄に記入してください。

学 歴

※通学したすべての学校を小学校から順に記入し、在学期間の「入学・転入 / 卒業・転出」欄の当てはまるものに○印をつけてください。

※出願時点で在学中の場合は卒業見込みの年月を記入してください。

学 校 名	学校所在地 (国・地域、および市)	在 学 期 間		在学 年数	卒業資格 (小・中・高・高専・大学)
		年 月 ~ 入学・転入	年 月 卒業・転出	年	
		年 月 ~ 入学・転入	年 月 卒業・転出	年	
		年 月 ~ 入学・転入	年 月 卒業・転出	年	
		年 月 ~ 入学・転入	年 月 卒業・転出	年	
		年 月 ~ 入学・転入	年 月 卒業・転出	年	
		年 月 ~ 入学・転入	年 月 卒業・転出	年	

【補足】

学歴欄には在籍状況について詳しく記入し、飛び級・早期卒業・休学などの事実がある場合は補足欄に理由および期間を記入してください。

日本語学校等の在籍歴

※出願時点で在学中の場合は修了見込みの年月を記入してください。

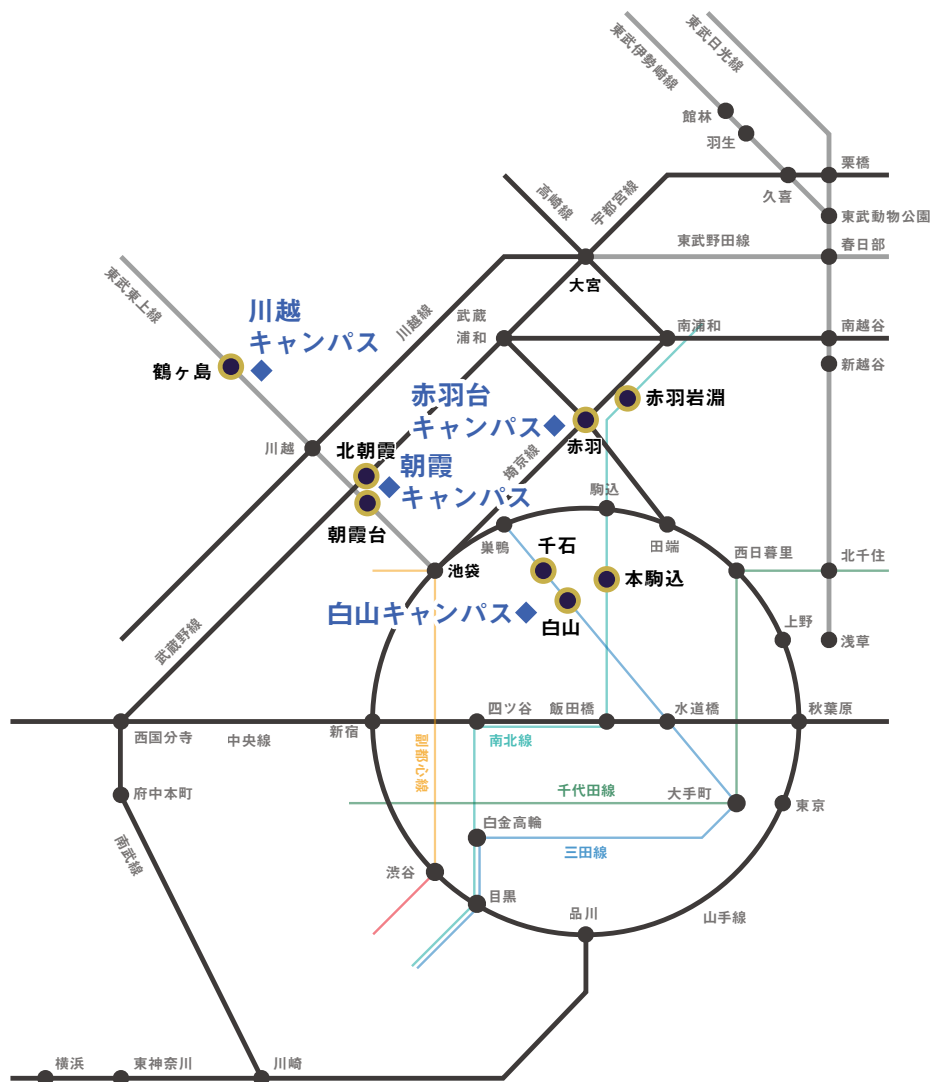
※日本語学校等の在籍歴がない場合は「なし」と記入してください。

日本語学校（大学別科含）・専門学校	学校所在地 (国・地域、および市)	在 学 期 間		在学 年数
		年 月 ~	年 月	年
		年 月 ~	年 月	年
		年 月 ~	年 月	年

外国語の知識（母国語、日本語を除く）

※学習したすべての外国語を記入してください。

外 国 語 名	学 習 期 間	学習した学校・機関名
	年 力月	
	年 力月	
	年 力月	



交通案内

白山キャンパス

- 都営地下鉄三田線
「白山」駅下車、A3出口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線
「千石」駅下車、A1出口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線
「本駒込」駅下車、1番出口より徒歩5分

赤羽台キャンパス

- JR
「赤羽」駅下車、西口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線 / 埼玉高速鉄道線
「赤羽岩淵」駅下車、2番出口より徒歩12分

川越キャンパス

- 東武東上線
「鶴ヶ島」駅下車、東口より徒歩10分

朝霞キャンパス

- 東武東上線
「朝霞台」駅下車、北口より徒歩10分
- JR 武蔵野線
「北朝霞」駅下車、東口より徒歩10分



東洋大学